

部分分数分解の可能性について

代数学の基本定理「複素係数の1次以上の整方程式は必ず解を持つ」から、分母が $(x-\alpha)^m$ と $(x^2+ax+b)^n$ の形の積に因数分解されることが証明できる。

(a) 実係数の整式 $q(x)$ は、 $q(x)=0$ が $x=\alpha$ を解に持てば、 $x-\alpha$ で割り切れて、その商は実係数の整式である。

(b) 実係数の整式 $q(x)$ は、 $q(x)=0$ が $x=\beta$ ($=s+ti$ (s, t は定数)) を解に持てば、 $x=\bar{\beta}$ ($=s-ti$) も解に持つから、 $(x-\beta)(x-\bar{\beta})=x^2-(\beta+\bar{\beta})x+\beta\bar{\beta}=x^2-2sx+s^2+t^2$ で割り切れて、その商は実係数の整式である。

(a), (b)を繰り返すことにより、

$$q(x)=c(x-\alpha_1)^{m_1}(x-\alpha_2)^{m_2}\cdots(x-\alpha_k)^{m_k}(x^2+a_1x+b_1)^{n_1}(x^2+a_2x+b_2)^{n_2}\cdots(x^2+a_lx+b_l)^{n_l}$$

と因数分解できることがわかる。

次に、分数式 $\frac{p(x)}{q(x)}$ ($(p(x)$ の次数) $<$ ($q(x)$ の次数)) の部分分数分解の可能性について示そう。

(c) $q(x)=(x-\alpha)^m q_1(x)$, $q_1(\alpha)\neq 0$ とする。改めて $p_1(x)=p(x)$ とおき、 $A_1=\frac{p_1(\alpha)}{q_1(\alpha)}$ と定める

と、 $p_1(\alpha)-A_1q_1(\alpha)=0$ より、 $p_1(x)-A_1q_1(x)=(x-\alpha)p_2(x)$ とおける。よって、

$$\frac{p(x)}{q(x)} = \frac{p_1(x)}{q(x)} = \frac{A_1q_1(x)+(x-\alpha)p_2(x)}{(x-\alpha)^m q_1(x)} = \frac{A_1}{(x-\alpha)^m} + \frac{p_2(x)}{(x-\alpha)^{m-1} q_1(x)}$$

と変形できる。これを $m-1$ 回繰り返すことにより、

$$\frac{p(x)}{q(x)} = \frac{A_1}{(x-\alpha)^m} + \frac{A_2}{(x-\alpha)^{m-1}} + \cdots + \frac{A_{m-1}}{(x-\alpha)^2} + \frac{A_m}{x-\alpha} + \frac{p_{m+1}(x)}{q_1(x)}$$

となり、 $p_{m+1}(x)$ の次数 $< q_1(x)$ の次数 であることもわかる。

(d) $q(x)=\{(x-s)^2+t^2\}^n q_2(x)$, $q_2(s\pm ti)\neq 0$, $t\neq 0$ とする。改めて $r_1(x)=p(x)$ とおき、

$$B_1(s+ti)+C_1=\frac{r_1(s+ti)}{q_2(s+ti)} \text{ と定めると、 } r_1(s+ti)-\{B_1(s+ti)+C_1\}q_2(s+ti)=0 \text{ より、}$$

$r_1(x)-\{B_1x+C_1\}q_2(x)=\{(x-s)^2+t^2\}r_2(x)$ とおける。よって、

$$\begin{aligned} \frac{p(x)}{q(x)} &= \frac{r_1(x)}{q(x)} = \frac{(B_1x+C_1)q_2(x)+\{(x-s)^2+t^2\}r_2(x)}{\{(x-s)^2+t^2\}^n q_2(x)} \\ &= \frac{B_1x+C_1}{\{(x-s)^2+t^2\}^n} + \frac{r_2(x)}{\{(x-s)^2+t^2\}^{n-1} q_2(x)} \end{aligned}$$

と変形できる。これを $n-1$ 回繰り返すことにより、

$$\frac{p(x)}{q(x)} = \frac{B_1x+C_1}{\{(x-s)^2+t^2\}^n} + \frac{B_2x+C_2}{\{(x-s)^2+t^2\}^{n-1}} + \cdots + \frac{B_nx+C_n}{(x-s)^2+t^2} + \frac{r_{n+1}(x)}{q_2(x)}$$

となる。

以上から、部分分数分解に分解することが可能であることがわかる。